

平成25年度事業報告

青少年はかけがえのない「今」を生きています。同時に未来を担う人材でもあります。

未知の事柄に挑戦し、新しい能力を身につけ、未来を羽ばたく準備の時期です。

しかし、いじめ、不登校、児童虐待といった課題は年々深刻化し、また、近年の情報化の進展は視野や見識を広げる一方で、ネットに児童自らが自身の情報を書き込み、犯罪に巻き込まれてしまったり、いたずら心で事件を起こす書き込みをしてしまうなど、ほんの些細な気持ちから、取り返しのつかないことをしてしまう事象が相次いでいます。

そのため、すべての県民が、このような諸問題について関心を深め、地域に根ざした青少年の健全育成活動を展開するため、行政機関、地域で活躍する青少年育成県民運動推進委員や各市町村民会議、また、青少年団体等と協働しながら様々な取り組みを展開し、青少年の健全育成を推進してまいりました。

さらに、青少年自身が青少年を育成するリレー式次世代健全育成事業を通じて、青少年の循環システムの構築に、地域、企業、行政等が連携し、健全育成の体制づくりと育成力の強化に努めてまいりました。

なお、「少年メッセージ2013」や「家庭の日」関連事業などにより、次代を担う青少年を健やかに育成するため、青少年育成県民運動を積極的に推進してまいりました。

1 「地域の育成力」の強化と推進体制づくり

(1) 地域推進体制強化事業

地域社会の大人の一人ひとりが、青少年の育成に関心を持ち、青少年と交流を深め、青少年を見守り育ていく「地域の育成力」の強化と体制づくりを推進しました。

① 市町村民会議等との連携

各市町村民会議等が抱える課題や問題点に対する共通認識を深め、今後の健全育成の取組について意見交換するため、代表者並びに青少年育成県民運動推進委員との合同会議を開催するとともに、各市町村を訪問し、意見交換や情報収集等を行うことによるネットワークづくりを推進し、協会事業の円滑な推進と育成活動の充実を図りました。

また、各市町村民会議等との連携を更に強化するため、事務局等との担当者会を開催しました。

【市町村民会議等代表者及び青少年育成県民運動推進委員合同会議】

開催日	場所	対象者	参加人数	内容
○和歌山市 平成26年2月 3日(月)	和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	左記開催日記載 地方の市町村民 会議等の代表者 、青少年育成県 民運動推進委員 及びその事務局 等	10名	◎平成26年度事業計画(案)説明 ◎青少年育成協会の取り組み ◎各市町村民会議の現況 ◎各市町村の取り組み状況及び 主要事業の報告 ◎意見交換 など
○海草地方 平成26年2月 7日(金)	海南市民会館 (海南市)		15名	
○那賀地方 平成26年1月22日(水)	那賀振興局 (岩出市)		17名	
○伊都地方 平成26年1月21日(火)	伊都振興局 (橋本市)		15名	
○有田地方・日高地方 平成26年1月23日(木)	有田振興局 (湯浅町)		31名	
○西牟婁地方 平成26年1月30日(木)	西牟婁振興局 (田辺市)		12名	
○東牟婁地方 平成26年1月31日(金)	東牟婁振興局 (新宮市)		16名	

② 市町村民会議等への補助事業

地域の子どもは地域が育てることを促進するため、県内30市町村にある市町村民会議などが実施する青少年の健全育成にかかる事業を支援しました。

市町村民会議等支援事業 10団体 900千円

③ 青少年育成県民運動推進委員会の運営

各地域で県民運動を推進する青少年育成県民運動推進委員の連携を図るための推進委員会理事会の開催や、青少年育成県民運動推進委員相互の連携や資質向上を目的とした研修会などを実施しました。

【青少年育成推進委員会連絡協議会理事会】

- 第1回 平成25年4月22日(月) 和歌山ビッグ愛9階 会議室B
- ◎ 平成24年度事業報告及び収支決算(案)並びに平成24年度収支決算監査報告について
 - ◎ 平成25年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 - ◎ 役員改選について
 - ◎ 青少年育成県民運動推進委員研修会の開催について
- 第2回 平成25年10月7日(月) 和歌山ビッグ愛9階 会議室B
- ◎ 平成25年度事業経過報告について
 - ◎ 平成25年度子ども・若者育成支援県民大会について など
- 第3回 平成26年2月21日(金) ワカヤマ第2富士ホテル
- ◎ 平成25年度事業経過報告について
 - ◎ 平成26年度事業計画(案)について
 - ◎ 青少年育成指導者関係研修会の開催について など

【青少年育成県民運動推進委員研修会】

期 日	会 場	参加数	内 容
平成25年5月19日(日) ～5月20日(月)	ホテル シーモア (白浜町)	81名	<ul style="list-style-type: none"> ○講演 「自殺防止に関わり気づいたこと」 講師：NPO法人白浜レスキューネットワーク理事長 藤 藪 庸 一 氏 ○講演 「子どもとのコミュニケーション」の取り方 講師：和歌山カウンセリングルーム主宰 田 中 純 子 氏 ○講演 「地域を巻き込む青少年活動づくり」 講師：NPO法人山科醍醐子どものひろば理事長 幸 重 忠 孝 氏 ○青少年育成協会の主要事業等の取り組み リレー式次世代健全育成事業 など

④ 地方推進委員連絡協議会事業への助成

県内8地方の推進委員連絡協議会の活動及び県民運動推進委員に活動費を助成し、地域における県民運動の展開、地域の育成力の強化を図りました。

対 象	補 助 額
青少年育成推進委員会連絡協議会活動事業補助	900千円
各地方青少年育成県民運動推進委員活動補助	

(2) 青少年育成県民運動推進事業

青少年育成県民運動のより一層の推進のため、各種啓発事業を実施し、青少年の健全育成に対する県民の理解が深まるように取り組みました。

① 子ども・若者育成支援県民大会の開催（県との共催事業）

11月の「子ども・若者育成支援強調月間」において、家庭・地域・学校・職場・行政等が一体となった青少年育成県民運動の気運の高揚と県民の理解を促すため開催しました。

開催日	場所	内容
平成25年11月10日(日)	串本町文化センター (串本町)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ (公社)和歌山県青少年育成協会会長表彰授与・会長表彰 個人：4名 団体：1団体 ◎ 「家庭の日」絵画コンクール優秀作品表彰 ◎ 青少年健全育成巡回活動隊への知事メッセージ伝達 ◎ 子ども（高校生）と大人のフォーラム テーマ：「高校生の地域にかける思い」 コーディネーター：平阪 佳久氏（ウインズ） パネリスト：東牟婁地方の高校生8名 ◎ ミニコンサート

② 「夏の子どもを守る運動」（7月1日～8月31日）の推進（県との共催事業）

夏場における青少年の非行防止や犯罪被害防止、水の事故等を防止するため、関係機関等と連携し、街頭啓発や児童に対する水難防止教室等を開催しました。

・水難防止教室の開催

開催日	場所	内容
平成25年7月4日 平成25年7月12日 平成25年7月16日	田辺市立新庄小学校 和歌山市立藤戸台小学校 湯浅町立田村小学校	水難事故に遭わないための心構え 水難時の対応 など 海上保安部隊員による指導

③ 青少年アドバイザー会に対する支援

青少年育成アドバイザー会活動を支援するため補助金を交付しました。

- ・青少年活動センター活性化事業の実施 50千円
- ・アドバイザー会の研究集会、研修会、推進会議 など

(3) 「少年メッセージ2013」和歌山県大会の開催

今を生きる中学生が何を考え、何を社会に対して訴えたいのか、また、これからのようなことをしていきたいのかをテーマにした作文を募集し、子ども達が人生や社会について考えるきっかけを提供するとともに、地方予選などを通じて選ばれた18名による発表大会を開催しました。大会を通じ、中学生に対する大人の理解を深めるとともに、中学生の社会参加と意識啓発の促進を図りました。

開催日	会場	観客数	県内中学生	応募者数	応募率
平成25年7月27日(土)	岩出市立市民総合体育館 (岩出市)	約600名	29,232名	11,458名	約39.1%

(県内中学生数は、平成25年度学校基本調査より)

【「少年メッセージ2013」国内研修】

青少年自身が様々な自然や文化を体験し、異世代間の交流を図り、多様化する社会に対応できる自立心と社会性を身に付けることを目的に、次代を担う青少年リーダー育成のため国内研修を実施しました。

対象者：和歌山県大会発表者及び奨励賞受賞者の42名
研修日：平成25年7月28日（日）～30日（2泊3日）
研修内容：広島県（原爆ドーム・原爆資料館見学）→ 江田島青少年交流の家：泊
（レクリエーション活動など）
江田島（旧海軍兵学校見学）→ 岡山県吉備青少年自然の家：泊
（クラフト・研修会など）
姫路城（天守閣見学）→ 天空の白鷺見学

・参加者 中学生24名 ・引率 パステル3名、事務局3名

（4） リレー式次世代健全育成事業の実施（県委託事業）

青少年自身が地域の青少年を育成するリレー式次世代健全育成事業を通じて、次代を担う青少年育成の循環システムの構築に取り組み、地域における健全育成の体制づくりと育成力の強化を図りました。

① 地域の育成力強化ワークショップ

・地域での青少年育成システム体制づくりを構築するためのワークショップ（講座・研修など）を実施しました。

みなべ町 3回、太地町 1回、印南町 3回、有田市3回、日高川町 1回、
田辺市 4回、広川町 3回、新宮市 1回、有田川町 1回、白浜町 3回、
由良町 2回、串本町 1回、御坊市 1回、計13市町 19団体 27回

② アドバイザーの派遣

・上記①の取り組みを実施するための講師を派遣しました。

③ 地域の育成力を考えるフォーラム実施

地域が一体となり、子ども・若者を育成していく仕組み作りに向けて県内の気運を醸成するとともに、関係者が一堂に会して今後の方策について考える機会をつくることを目的にフォーラムを実施しました。

日時：平成26年1月25日（土） 13：00～16：00

場所：和歌山市北コミュニティーセンター

対象者：地域で青少年育成に関わっている方

内容：特別講演 文部科学省 生涯学習推進課長 早川 俊章 氏
事例発表 地域の青少年団体 有田市港町青少年育成会
(3団体) 印南町商工会青年部
青年クラブみなべ

パネルディスカッション

NPO法人アサヒキャンプ 副理事長 許斐 喜久子 氏

パネラー

事例発表者 3名

鹿児島県青少年男女共同参画課 主査 慶田 弦 氏

④ こどもリーダー養成研修

- ・地域の核となる子どもリーダーを養成し、地域活動を活発化させるため下記施設で（前期、後期）6回実施しました。

開催場所	開催日		参加数		合計	年間合計
			小学生	中学生		
紀北青少年の家	前期	8.14(水)～8.16(金)	80	17	97	181
	後期	12.21(土)～12.23(月)	63	21	84	
白崎青少年の家	前期	8.10(土)～8.12(月)	67	34	101	227
	後期	3.21(金)～3.23(日)	104	22	126	
潮岬青少年の家	前期	8.18(日)～8.20(火)	14	8	22	37
	後期	1.11(土)～1.13(月)	14	1	15	
合計	前期		161	59	220	445
	後期		181	44	225	
年間合計	前期+後期		342	103	445	

* コアリーダー研修会

リレー式次世代健全育成事業「こどもリーダー養成研修」修了者及び各地域のジュニアリーダーの企画力、実行力、指導力などを養う場を提供するため、研修会を開催しました。

- ・平成25年6月15日（土）～16日（日）白崎青少年の家 参加者13名
- ・平成26年3月27日（木）～28日（金）由良町～串本町 参加者11名

(5) 和歌山県ユースリーダーズクラブパステル運営

リレー式次世代健全育成事業等の運営補助を通して、資質・能力等を研鑽するなど、会員相互のスキルアップや会員指導により次代を担う青少年を育成しました。

○ 平成23年1月5日発足

H26.3.31現在

市町村名	会員数
和歌山市	22名
海南市	6名
紀の川市	5名
岩出市	12名
橋本市	26名
九度山町	3名
有田市	1名
湯浅町	1名
美浜町	1名
日高川町	2名
田辺市	1名
串本町	1名
那智勝浦町	1名
合計	82名

(現会員数)

○ 活動内容

子どもリーダー研修を修了した中高生等が会員相互の親睦と、リーダーとしての資質能力を高めることを目的に結成した団体で、リレー式次世代健全育成事業や市町村事業等で子どもへの育成指導を行っています。

また、月1回定例会を開催し研修を行うとともに人権フェスタなどのイベント開催にブース出展等の活動も実施しました。

2 青少年活動の推進と居場所づくり

(1) リーダー活動支援事業

リレー式次世代健全育成事業で育成した小学生や中学生が、企画・運営等に参画する民間団体等の事業に支援をしました。

1 1 団体 8 3 5 千円

(2) 青少年団体活動支援事業

青少年団体活動の活性化のため、団体が実施する様々な事業に対し補助しました。

3 団体 8 0 0 千円

(3) わかやま青少年パワーアップ支援事業

青少年団体などが主体となって実施し、会員の資質向上につながる事業等に対して支援をしました。

4 団体 (8 事業) 6 7 0 千円

(4) 青少年育成情報発信事業

各種の青少年団体や育成協会の情報を様々な媒体で効果的に発信することで、青少年活動への参加や交流のきっかけづくりに取り組みました。

① 機関誌「やまびこ」の発行

様々な角度から協会事業や各地方での取組等を紹介し、青少年健全育成事業の理解や参加を促進しました。

② 協会ホームページの運営管理

「少年メッセージ2013」和歌山県大会の様態を動画で掲載するなど、協会ホームページを充実させ、協会事業をはじめ青少年の育成に関する有益な情報を多くの方に提供しました。

③ メールマガジンの発行

協会会員や希望者を対象に、協会事業のお知らせや健全育成に関する様々な情報をメールマガジン(不定期)で発信しました。

(5) 「家庭の日」運動の推進事業

毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、家族全員が家族のふれあいの大切さなどを再認識するため、各種事業を実施し、明るい家庭づくりの推進と絆づくりに取り組みました。

① 「家族そろって新入生」啓発リーフレットの作成(共同募金会助成事業)

小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象として、家庭での教育やしつけに関することなどを中心に、保護者と子どもを応援するためのリーフレット13,000部を作成し、幼稚園、保育所等を通じて配布し、子育てを支援しました。

② 家庭の日絵画作品募集事業

家族にまつわる絵画を募集し、作品に表現された「ふれあいとやすらぎ」のある家庭像をもって、家族や家庭の大切さについて改めて県民の理解を得るための啓発活動を行いました。

また、優秀作品10点は、当協会カレンダー及び当協会ホームページ等に掲載しました。

応募総数 304点

ファミリー賞2名 ふれあい賞1名 やすらぎ賞1名 入賞6名

(6) 青少年活動センター活性化事業（県委託事業）

和歌山県青少年活動センターにおいて、青少年の健全な育成を図り、青少年活動に関する交流を推進し、県内の青少年団体等の指導者を育成することを目的に実施しました。

事業数	13回
事業費	800千円
事業内容	親子工作体験教室、親子サイエンス教室、古事記研修会 等
参加者数	344名

3 協会の体制と財政基盤の充実強化

青少年問題は大人社会の鏡であるという認識のもと、地域の大人一人ひとりが青少年を育成する自覚を持って青少年に模範を示し、地域における人と人とのつながりや地域社会と関わることの大切さを再認識できる地域づくりを推進しました。

そのため、各市町村民会議や各関係団体と協働して健全育成活動を推進することで、効果的に事業を実施し、青少年育成県民運動に積極的に取り組み、カレンダー等、啓発用リーフレットを作成・配付することにより、当協会が県民に青少年の健全育成に取り組んでいることをPRするとともに、関係団体との連携を深めてまいりました。

また、当協会の設立趣旨に賛同していただける新規会員の加入促進を図り、財政基盤の充実を図るとともに、効率的な事業運営に努めました。

(参考)

① 通常総会

平成25年6月22日(土) 県立図書館 2階 (メディア・アートホール)

- ◎ 平成24年度事業報告並びに収支決算報告について
- ◎ 平成25年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
- ◎ 役員を選任について
- ◎ 記念講演
 - ・テーマ 「昨日、今日そして明日」
 - 講師 ウインズ 平阪 佳久 氏

② 理事会

第1回 平成25年5月30日(木) 和歌山ビッグ愛9階

- ◎ 平成24年度事業報告及び収支決算報告について
- ◎ 平成25年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- ◎ 役員を選任・通常総会について など

第2回 平成25年10月28日(月) 和歌山ビッグ愛9階

- ◎ 平成25年度事業経過報告及び今後の計画について
- ◎ 平成25年度子ども・若者育成支援県民大会について
- ◎ 子ども・若者育成支援県民大会における会長表彰の承認について など

第3回 平成26年3月17日(月) 和歌山ビッグ愛9階

- ◎ 平成25年度事業経過報告及び収支補正予算(案)について
- ◎ 平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)について など

③ 会員数等

新規会員加入の促進を図り、財政基盤の充実に努めてまいりましたが、経済情勢を反映し、正会員・賛助会員ともに会費収入が減少しています。

平成	正 会 員			賛 助 会 員	合 計	会 費 収 入		合 計
	個 人	団 体	計			正 会 員	賛 助 会 員	
22	391	122	513	184	697	1,290,000	1,950,000	3,240,000
23	399	116	515	175	690	1,247,000	1,810,000	3,057,000
24	447	116	563	178	741	1,379,000	1,880,000	3,259,000
25	471	116	587	174	761	1,319,000	1,820,000	3,139,000
増減	24	0	24	△4	20	△60,000	△60,000	△120,000
増減率	5.4	0	4.3	△2.2	2.7	△4.4	△3.2	△3.4

- * 会員数は、各年度の3月31日現在
- * 会費収入は、各年度の決算時現在
- * 増減・増減率は、平成24年度（昨年度）比較